

受付番号	3	受付月日	11月 16日
		午前・午後	午後 5時 00分

東郷町議会議長 加藤 宏明 殿

東郷町議会議員 会派名 新東会

議席番号 13 番氏名 近藤 鑛治

一般質問通告書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 人口減少・少子高齢化の進展に対応した施策について	<p>我が国の総人口は、平成20年（2008年）ピークに減少に転じ、今後も減少傾向が続くと言われている。本町においては、当面増加傾向が続くと言われていたが、減少傾向に転じたのではないか。このことについて確認と今後の施策について伺う。</p> <p>(1) 本町の人口推移を見ると減少傾向にある。どのように分析されているか。</p> <p>(2) 町長が就任され、若い世代の定住及び転入・流入施策により人口増加に繋がっている施策について。</p> <p>(3) 第6次東郷町総合計画が本年スタートした。人口の推移は、今後の施策を推進する上で重要である。「将来人口見通し」の資料と現状の差異が発生している。その対応について。</p> <p>(4) 人口減少・少子高齢化の進展に対応した施策が必要である。今後の対応策について。 ア 若い世代の定住促進・流入促進・流出抑制 イ 高齢者の就労・社会貢献の推進 ウ 公共交通の利便性の向上の推進</p> <p>(5) 少子高齢化が進む中で、担い手として外国人の役割は大変重要と考えるが、受け入れ対応について。 ア 在住外国人に対する支援及び今後の受け入れ体制について。 イ 「東郷町国際交流協会」に対する支援の充実について。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 地籍調査について	<p>ウ 生活支援（防災・ごみ分別指導等）、公共施設等の利用について、支援の現状と今後の取組について。</p> <p>地籍調査を実施することで、1) 災害復興の迅速化 2) 土地の権利関係の明確化 3) 公租・公課負担の公平化 4) 公共事業の円滑化などの効果があると言われている。本町の考え及び取組について伺う。</p> <p>(1) 本町においては地籍調査に未着手であるが、このままにしておくことは、町民に今後どのような不都合・トラブルが発生する恐れがあるか。</p> <p>(2) 地籍調査を実施する効果について（4項目）について、本町の考えは。</p> <p>(3) 第6次東郷町総合計画で将来都市像「ひと・まち・みどり ずっと暮らしたい とうごう」を掲げ目指している。地籍調査する考えは。</p>	町長 担当部長
3 陶芸文化の振興について	<p>老人憩いの家の閉鎖に伴う機能移転により、陶芸設備が町民会館に移転され平成30年4月から、多くの町民が身近で陶芸を体験する機会ができ、3年が経過した。利用状況と今後の陶芸文化振興の取組について伺う。</p> <p>(1) 現状の活動状況について。</p> <p>(2) 当時の教育部長は、陶芸窯の設備が整い多くの町民に身近に陶芸文化を親しんで頂き、文化の振興及び町民相互の交流の場になる取組を展開していくと答弁頂いた。その後、具体的にどのような取組がなされたか。</p> <p>(3) また、児童館での活動及びきらきら子どもの体験活動等においても、陶芸を体験する企画を考えたいと答弁されているが、その後の進捗状況は。</p> <p>(4) 陶芸窯の町外利用者が増えており、焼成の順番待ちとなっていると聞いている。現状と今後の対応策は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>(5) 奈良・平安・鎌倉時代に、この地で焼き物が盛んに焼かれ出土品も多くある。東郷美化センター内には、黒笹7号窯（県指定文化財）があり見学することもできる。本町の歴史と文化を知り東郷愛を深める意味からも、陶芸文化振興の積極的な取組が必要と考えるが、その考えは。</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。